

# 記入例 (船外機を導入対象とした場合)

## エネルギー使用合理化漁船等導入計画認定申請書兼認定書

平成20年度エネルギー合理化使用事業者支援事業に応募するにあたり、農林水産省の行うエネルギー使用合理化漁船等導入計画認定を受けたいので、別添書類とともに認定を申請します。この申請書及び添付書類の内容に相違ありません。

なお、この申請書及び添付書類に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切いたしません。

申請日	平成 年 月 日
-----	----------

申請者	(漁連・漁協または法人格を持つ事業所)
-----	---------------------

所在地	(郵便番号から記入すること)
担当者	
電話	
F A X	
e-mail	

### 1. 導入計画及び導入機器等の性能等

	使用者	設備導入事業所の概要	被代替機器等	導入機器等
1	氏名	〇〇漁業協同組合 漁船登録番号 ..... 船名 ..... 総トン数 ..... 漁業種類 .....	メーカー名	4サイクルガソリン船外機 その他船外機関 連続出力 29.4 kw ( 40 PS) 連続出力時燃料消費率 ..... 連続出力時燃料消費率 340 g/kw・h以下 ..... 250 g/PS・h以下
	住所		機関名称	
	TEL		連続出力 40 PS	
	FAX		連続出力時燃料消費率 350 g/PS・h	
2	氏名			
	住所			
	TEL			
	FAX			
3	氏名			
	住所			
	TEL			
	FAX			

連続出力時燃料消費率については、メーカーまたは販売店に問い合わせせて記入してください。

導入予定の船外機のメーカーまたは販売店に問い合わせせて記入してください。

## 2 燃油使用量

	使用者	被代替機器等	導入機器等	燃油削減量 (1)
		年間使用量(1)	年間使用量(1)	
1	(使用者の氏名)	1,850	1,500	350
2		※1	※2	※3
3				
4				
	合計			

※1 1年間の燃油使用量をリットル単位で記入。その使用量を証明する資料(領収書等)を準備しておく。

※2 導入予定船外機と被代替機の燃料消費率の改善率をもとに、予想される年間使用量をリットル単位で記入。ただし、使用条件のばらつきを考慮しておくこと。

※3 燃油削減量 = 被代替機器の年間使用量(ℓ) - 導入期機の年間使用量(ℓ)

## 3 エネルギー消費実績

	使用者	導入前			導入後		
		年間燃油 使用量(1)	原油換算 (1)	原油換算数	年間燃油 使用量(1)	原油換算 (1)	原油換算数
1	(使用者の氏名)	1,850	1,646	0.89	1,500	1,335	0.89
2			※4	※5		※4	※5
3							
4							
	合計						

※4 原油換算(ℓ) = 燃料使用量(ℓ) × 原油換算数 計算結果は小数点以下切捨

※5 原油換算数については、以下の表を参照ください。

使用燃料	原油換算数
ガソリン	0.89
灯油	0.95

#### 4 省エネルギー効果

	使用者	省エネ率 (%)	省エネ量 (l)	省エネ量 (l) / 経費 (千円)
1	(使用者の氏名)	18	311	0.408
2		※7	※6	8
3				
4				
	合計			

3. エネルギー消費実績の原油換算数及び5. 当該事業に要する経費等の補助事業に要する経費を元に算出すること。

※6 省エネ量(l) = 導入前の原油換算(l) - 導入後の原油換算(l)  
(3. エネルギー消費実績の計算結果を利用してください。)

※7 省エネ率(%) = 省エネ量(l) / 導入前の原油換算(l)

※8 省エネ量(l) / 経費(千円) = (省エネ量(l) ÷ 補助事業に要する経費の合計) × 1,000  
(計算結果は小数点以下4桁目を切捨て (例) 0.40813 → 0.408)

#### 5 当該事業に要する経費等 (共同所有持分比率1%の場合)

	使用者	補助事業に要する経費 (円)			補助対象経費 (円)	補助率	補助金申請 予定額
		本体価格	艀装費	据付費			
1	(使用者の氏名)	762,000	—	—	762,000 (7,620)	1/3	254,000 (2,540)
2		※9			※10	1/3	※11
3						1/3	
4						1/3	
	合計					1/3	

共同所有による共同申請の場合は、各経費の欄を2段書とし、下段に( )書きで共同所有者である漁連等の持ち分額を内数で記載すること。

※9 船外機の場合は、艀装費・据付費を本体価格(税抜)に含めること

※10 補助事業に要する経費の合計額(税抜)を記入。

※11 補助対象経費に1/3を掛けた数値を記入してください。  
(ただし、小数点以下は切り捨てとします。)

## 6 資金調達計画

	使用者	調達金額（円）			
		補助金	自己資金	借入金	計
1	(使用者の氏名)	254,000	546,100		800,100
			(5,461)		(8,001)
2		※12	※13	※14	
3					
4					
	合計				

共同所有による共同申請の場合は、各経費の欄を2段書とし、下段に（ ）書きで共同所有者である漁連等の持ち分額を内数で記載すること。

※12 前頁※11の額を記入。

※13 負担金(調達金額の合計(税込)から補助金を引いた額)のうち、使用者が負担可能な額を記入。

※14 負担金(調達金額の合計(税込)から補助金を引いた額)のうち、借入金を予定している額を記入。

(※13と※14の合計が事業費の2/3+調達金額の消費税相当額となるようにしてください。)

## 7 添付書類

見積書 (メーカーまたは販売店発行のもの。原則として3社以上の見積りをとること。)

記入例 見積書 兼 導入機器等の仕様性能証明書の作成例参照

被代替機器等の特性等を証明する書類 (燃料消費率の記載がある機関要目表で可)

記入例 被代替機器等の仕様性能証明書の作成例参照

導入機器等の特性等を証明する書類 (同上)

記入例 見積書 兼 導入機器等の仕様性能証明書の作成例参照

被代替機器等の1年間の燃油使用量を証明する資料

(例:漁協、燃料販売店等が発行した証明書等)

記入例 ガソリン販売証明書の作成例参照

事業の全体スケジュールと年度毎に要する経費の範囲を説明した資料(複数年度事業の場合)

※15 添付書類は、別添の様式・記入例を参考にしてください。様式をそのまま使用しなくても結構ですが、記入項目は全て満たすようにしてください。

この申請書及び添付書類を審査し、エネルギー使用合理化漁船等導入計画として認定いたしました。

平成 年 月 日

水産庁増殖推進部長

重 義 行 印



# 記入例② (被代替機器等の仕様性能証明書の作成例)

(様式 - 4)

使用者番号

## 仕様性能証明書

平成 20 年 月 日

漁業協同組合 御中

( 殿所有 第 丸 )

( 販売会社名 )

( 代表者氏名 )

印

( 住所 ) 〒

電話

現在、本船に設備されている船外機の仕様及び性能は下記のとおりであります。

品名.....(株)製 2サイクルガソリン船外機

機関名称	( )
主な仕様	
連続出力	29.4 kW
連続出力時の回転速度	5,500 rpm
トランスミッション仕様	L
始動方法	セルモーター
操縦装置	リモコン
主要目及び性能	
連続出力時の燃料消費率	g/kW・h (標準値、許容値 + 3%)
サイクル	2
シリンダ配置	立型
シリンダ数	
シリンダ直径	mm
行程	mm
総行程容積	L
漁船法馬力数	
備 考	

# 記入例③

## (ガソリン販売証明書の作成例)

(様式 - 5)

使用者番号

### ガソリン販売証明書

平成20年 月 日

漁業協同組合 御中  
( 殿所有 第 丸)

石油株式会社  
社長 印

平成19年 月 日から平成20年 月 日までに、漁船 第 丸の推進機関  
(船外機)用として、ガソリン L(リットル)を販売しましたので報告します。